京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久伸一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

雜報

上海恐慌と滿洲

上海に於ける清國銀行源豊潤の破碇事件は延いて一般財界の恐慌を誘起し事態愈よ穩やかならざる際同地外國銀行は同盟して二十餘支那銀行の發行せる手形の受入を中止したるより恐慌益す其度を高め其影響那邊に止まるやを疑はしめたるが由來滿洲は上海との直接關係尙稀薄を免れず特に大連の如きは其波動を受くるの惧先づは之れなければ營口長春は比較的に同地との關係深く又一般取引の狀態に於ても他地方と異なり帖子の流通及び發行頗る頻繁を極め居れば一朝波動の來らん曉には或は多少の影響を蒙むる事あるべし然かも其程度は破綻倒產等の甚だしきに至らず各自警戒に伴ふ一部金融の逼迫を見るに過ぎざる可しと觀察する者あり

各道種痘者數

地方各道に於ける種痘者非常の多數に上り當局は忙殺されつゝあることは屢報の如くなるが前配配布の痘苗數は殆んど之れを烏有に歸することなく何れも種痘の原料として用ゐられ且つ昨今非常に拂底し居れるより大体に於て之れに基づきて計算するを得べく又一方日々種痘者の增加を見つゝあれば將來を斷ずる能はざれども本二十八日迄の發送、請求具數は左の如くにして一具といふは五人の種痘苗數なるを以て本年一月以來本二十八日迄の種痘者は實に百六十六萬七千八百三十名に上り居り尙ほ痘苗發送具數は次の如し

上半期配布具數	一三二、五二五
七月以降の請求具數	二五〇、七〇一
廿七日迄の發送具數	一〇一、〇二一
本廿八日の請求具數	七〇〇
同 發送具數	一二、六〇五

即ち上半期配布具數十三萬二千五百二十五具及び其後二十七日迄の發送具數二十萬一千〇二十一具の和の五倍は即ち種痘者の總數たるなり今日既に二百萬人に近づかんとしつゝあるを以て本年中には豫定以上の種痘者を見るに至るべしと

●各地慈惠院の近況

先頃來開設中なりし朝鮮各地の慈惠醫院は最早や全部開院の運に至りたるが從來草根木皮の藥餌によりて僅かに病苦を嘗しつゝありし邊陬の人民も慈惠醫院の恩惠によりて新文明の醫藥が而かも無代價にて施療せらるゝより十里二十里を遠しとせで續々來集して診察を乞ふもの多く各地醫院共入院患者は既に滿員の姿にて今は一切謝絕し居る有樣なりと殊に公州及び海州の慈惠院の如きは日々診察を申出づるもの百五六十名に達する盛況にて醫院の狹隘を告ぐるより公州にありては目下廢廳舍となり居る財務監督局及び財務署全部を改造して病者を收容する筈にて目下其準備中なりとか又江原道春川の慈惠醫院の如きは土地片鄙なるより入院患者の如きは少數なるべしと思ひきや却て盛況なりと云ふ

●故梅博士紀念基金

故法學博士梅謙次郎氏が滿二十個年の久しきに亘り法學教育並に立法事業に盡力せられたる功績を永遠に紀念せんが爲門弟同僚及び友人等三百餘名發起となり紀念基金募集の擧あり而して之れが方法に就ては發起人總會の決議に基き濱尾男爵より實行委員四十餘名を指名し更に熟議を重ねたる上追て基金の處分を確定する由なるが先づ豫定事業として大要左の如く決したり

一、紀念基金の一部分を以て故梅法學博士の藏書を購入し之れを大學又は圖書館に寄附し其散逸を防ぐ事
二、博士の油繪肖像三面を作製し法科大學、法政大學、及び梅家に寄贈する事
三、其餘の資金全体を以て法學獎勵の基金となす事

右第三項の方法は基金の利子を以て民法論文、民法著書の懸賞募集、法律書の購入寄附等なるが右發表は來月二日發行の法學協會雜誌、國家學會雜誌、法學誌林、京都法學會雜誌、法學新報、法律新聞等に廣告すべしと尙ほ募集金額には別に制限を設けず何程にても受領する事となすべしと云へば故人の門弟同僚友人は勿論同計畫に贊成し故博士に同情ある士は何人も揮て應募せらるべしとなり

●徴兵適齢者の注意

四十四年度徴兵身体檢査は左の軍隊に於て施行せらる

羅南步兵第四聯隊、咸興步兵第三聯隊第二大隊、元山步兵第三十二聯隊第一大隊、龍山步兵第六十五聯隊、大邱臨時朝鮮派遣隊步兵第二聯隊、釜山步兵第二聯隊第三大隊、光州步兵第二聯隊第二大隊、大田步兵第一聯隊

一、釜山に於ける身体檢査を受けんとするものは願書に其旨を記し在大邱臨時派遣隊第三大隊に願出づる事
二、徴兵身體檢査を受けんとする者は左の雛形に依り願書に戶籍謄本を添へ明治四十四年二月十日迄に前項軍隊に願出さるる事

但願書は正副二通を要す戶籍謄本を右期日迄に差出し難き場合に在りては先づ願書のみを差出し謄本は追て差出すことを得

徴兵身体檢査願

本籍地……在留地……（民團役所屆濟）……族籍職業……
氏名 生年月日
希望檢査地（何々）
明治四十年度徴兵適齡に付何地に於て徴兵身體檢査を受け度候間御許可相成度此段奉願候也
年月日 氏名 印
隊長宛

三、願書を差出したるものは其隊長より許可證を受け檢査の前日迄檢査地に到り檢査員に屆出でらる事
四、身体檢査は四月一日より同五日迄の間に於て呼出令狀に示す日に於て施行せらる檢査を受くるものは當日本人の寫眞（撮影のもの）携帶し檢査員に差出さるる事
五、徴兵令第十二條に依り內地部隊にて現役に服するを出願し又は一年志願兵を志し學術試驗を要するものは檢査日迄に左記の軍隊に願出で身体檢査を受くる事を得其願書は徴兵身体檢査の願書準し戶籍謄本及寫眞は檢査前に差出さるゝ事

●大觀光團視察日程

西部鐵道管理局主催の京都、大阪に於ける朝鮮視察團の一行二百餘名の視察日程左の如し

十一月五日午後八時釜山着同地一泊▲六日後四時二十分釜山發七日午前五時五十五分南大門着入京二泊▲九日午前六時三十分當地發午後一時五十五分平壤着同地一泊▲十日午前十一時半平壤發同午後五時新義州着一泊▲十一日午後七時新義州發十二日午前十一時開城着を經て仁川着一泊▲十二日午前六時五分仁川發大邱を經て午後七時釜山着同地一泊翌十四日同地出發歸途に就くべし

●下關觀光團の旅程

下關商業會議所主催の朝鮮觀光團一行四十名の旅行日程を示せば左の如し

十一月五日午後十時下關出發▲六日午前八時三十分釜山着同地一泊▲七日午前六時三十分釜山沿線三浪津、馬山、大邱等を視察▲八日午後八時十分南大門着入京▲十日午前十時龍山發仁川へ向け同地視察の上午後更に京城に引返し同同地一泊十一日午前八時四十分南大門發列車にて歸途に就き同午後六時釜山にて解散すべし

尙ほ一行中主なる者の氏名を示せば▲代議士松尾寅三▲百三十銀行重役森川季四郎▲商業銀行支配人金森吉之助▲倉庫會社長桝谷音三▲會議所副會頭豐永七藏▲取引所理事長內田吉三郎▲商業銀行重役關谷福太郎▲市會議長和田又藏▲同副議長宮本眞策▲物品問屋頭取安井作次郎▲市參事會員林平四郎同有山寅槌同奈良野彌三郎氏等なりと



山中鹿之助 第二回

西尾麟慶演

更科の父樂岩寺右馬之介の元へ井上九郎光興が或日相木森之助を連れて參りました、早速右馬之介面會を致しました 右「是は井上殿能く御出下された、今日は幸ひ閑暇で御座いますから先日の打掛けの圍碁の勝敗を決しませう、井「イヤ、今日は圍碁を致す爲に參つたのでは御座らん、少しく貴殿に御話申度い事がある、夫故態々參上致しました 右「夫は又如何なる御用であるか、御聞けらるゝやう 井「鳥渡貴殿に御紹介を致す人物が御座る、相本是へ御通り下さい」と云はれて次の間に居りました相木森之助が夫へ入つて參ります 是を眺めた樂岩寺右馬之介 右「井上殿此の御人は相木森之助殿では御座らんか、事新しく紹介を爲さるまでもない相木氏なら存じて居ります 井「イヤ貴下は相木森之助を御存じない 右「是は又したり相木氏の伯父市郎兵衞殿とは永く熟懇に致したもの、其甥たる森之助を知らぬ道理はない 井「イヤ森之助は御存じだらふが、夫は形を認めて森之助と御承知あるまでの事、相木の如何なる人物だと云ふ事は御存じあるまい 右「ウム 井「イヤサ、貴殿は當村上の老職をた勤めになる、森は天晴智勇共に優れた方だと吾々は申すまでもなく、隣國にまで知られた貴殿に似合ぬ、此の相木森之助の人物を御存知ないとは千慮の一失、拙者が申すまでもなく當家に取て大敵と申すべきは、甲州の武田晴信で御座る、其武田が大擧して此處に押寄せ來つたならば、實に當家にとつての一大事、万卒は得易し一將は得難しとやら、此の御家多端の場合に相木如き人物を平侍に致して置くのは甚だ其意を得ざる事、如何さま伯父市郎兵衞が當家を見限り武田へ隨身致した不忠者である、其不忠者の甥であるから役に立べき者でも平侍に爲て置と云のは甚だ以て小量な爲され方、依て手前が本日相木を召連て御伺ひ致た貴殿は老職の事故上へ推擧して相木を重く御用になるやう御取計あつて可然さ存ずる、之を傍に聞て居りました森之助が驚ひた 森「是は井上先生甚だ手前へを激く御覽下さるゝは迷惑の至り、今日は御家老の處へ參つて圍碁を致すから同道しろと仰せられた故罷越したる處、手前を英雄なりとの仰せ近頃汗顏の至りに存じます 井「イヤ全く貴殿が物の役に立べきものと存せし故、上へ御推擧を願はん爲め是へ參つた、サア樂岩寺殿貴殿も當家の老職を勤め、能を擧げ賢者を勸めるが貴殿の職掌と存する、相木殿を御前へ御推擧を願いたいと、云はれて樂岩寺も暫く考ねて居りました、稍わつて 右「委細承知致した、其元の御詞も御尤千萬、然し當家を見限り武田に降つた相木市郎兵衞の不忠なる所行を怒られ夫が爲め森之助殿を上に於ても御用へなきものと存する、又井上殿が人を見出し玉ふ御心は天晴誠忠、只今新しく上へ申上げるは宜敷からうと存ずる、時節を見て拙者より委細申上げるで御座らふ 井「イヤ夫を承つて安心致した、然らば幾重にも此段御願仕つる、サア相木別段此の上に用もない、歸宅致さうと、別を告げて歸る事になりました、森之助が赤面致したは井上が自分を勸めてくれるのは有難いが、態々是へ連れて參つて樂岩寺に談判を試みたは些と閉口何か自分から井上に賴んだやうに思はれる、素より正直な人とて大ひに之を恥入り、早々樂岩寺の處を立出でました、此時樂岩寺の娘更科が相木森之助の容子を見ると、威あつて猛からず、年は未だ三十にならず、美男で御座ひまして何んとなく氣品が高ふ御座ひます、身分こそ違ふさら自分の夫とすべき者は、相木より他にないと決心した、處が如何に女で劍術が出來るの、力量があるのと云ふても、打つけに相木に對つて、妾を女房にして下さいとは云へない、と云つて默つて居れば此の事は纒らず、何うしたものかと思案にくれました、普通な女ならば戀病にでもなるのだが、ソコが山中鹿之助を產くらゐな女、キッと思案を致しまして井上先生の處へ參りました



●諸公債諸株券 現物賣買、迅速確實に御取扱可申候 兼業 既製洋服御小賣 官衙御用達
京城本町三丁目 大坂野村德七代理店 田中友吉商店 電話九川九 電報略号（タ）

實業家諸君に警告す

今や八道の山野は制度文物悉く維れ新に 實業的革新の機熟せり矣

本店の特色
一需用者と供給者との間には決して他仲介業者を介せず直接當店と交涉する事
一需用供給の狀況地方の經濟狀態に鑑み時價を定め決して過當の取引には應ぜざる事
一手數料は規定以外何物をも受けざる事
一誠實事に當り取引事項に付ては責任を以て保證の位置に立つ事
一顧客の便宜となるべき事項は精細調査し懇切叮嚀に應答する事

營業科目
一土地、鑛山、建物賣買仲介
一有價證券紹介
一抵當貸借
一農商工業に關する諸調査の受托

京城明治町三丁目 小林藤商廛 電話六五五番 電信略語（卜）

要項
土地を買入れんとする人
土地を賣らんとする人
建物宅地を買はんとする人
建物宅地を賣らんとする人
鑛業權を得んとする人
鑛業權を賣らんとする人
資金を得んとする人
資本を放下せんとする人
工業に從事せんとする人
各種既得權を賣んとする人
移住農民を要求する人
移住地を得んとする人
以上の各位は本店へ御來車の上又は御書面を以て詳しく御通報被下候得ば出來得る限りの方法を盡し御希望に應じ可申候

富裕なる資財と敏活なる才能を有せらるゝ實業家の奮て立つべき好機也

營業案內書は端書にて御申越次第直ちに進呈可仕候也

診察 每日 午前八時より午後六時まで
休日 每月 三日 十三日 廿三日
隆鼻術 成形術 每月曜日
京城支那領事館前 中村耳鼻咽喉眼科醫院
院主 從七位勳五等醫學得業士 中村健吉

大聲蓄音器●葉巻埃及莨●洋酒類新荷着
歐米雜貨洋酒食料品 洋煙草類金銀屬美術品 直輸入商
漢城美術品製作所製品特約販賣所
本町二丁目 辻屋 支店電話三六八 韓國振替口座八七

東京電報

▲日鮮間の通信敏速 遞信省は日露戰役の際布設せる下關、竹敷間、松江、元山間の軍用海底電線三線を讓受け今回買收の對馬釜山線と合せ都合四線をもて通信の敏速を計る事に決せり(廿九日)

▲貴族觀光團一行 朝鮮貴族觀光團一行は昨二十八日午後六時より名古屋市役所商業會議所主催の伊藤デパートメントストア、クレバ倶樂部の歡迎會に臨み尚黄花園を觀覽せり一行は今朝東京に向ふ元氣旺盛なり(同上)

▲軍艦生駒の歸着 生駒艦は本日無事横須賀に入港す齋藤海相以下出迎非常に盛んなり(廿九日)

▲錦愛鐵道の借款 錦愛鐵道は愈々米國より五十萬弗借入るゝ事に決したり(同上)

▲海事銀行設立説 東西船主同盟總會の決議に基き海事銀行設立の議を醸らしたる右委員代表者は遞信省當局を訪問して意見を陳述したるに當局は目下の所設立上の豫想さへ就き居らずと語れり(同上)

▲朝鮮貴族の入京 朝鮮貴族は本日入京す出迎非常に盛んなり三十日參內拜謁の筈(同上)

▲御歌會奉行仰付 明年御歌會始めの奉行は子爵長谷信成子爵入江爲守の兩氏に仰付られたり又詠進は一人一首にて料紙は檀紙、奉書、杉原紙又は美濃紙を用ひ一月十日迄に宮內省御歌所に差出すべしと(同上)

▲興銀總裁治水談 添田興銀總裁曰く治水調査會委員間には根本的改修説を持する者ありて五分利附一億圓の特別公債を發行すべしとの説あるが假に此説通過するも政府は之れを容るゝの餘地なかるべしと語れり(同上)

▲松田源治氏渡鮮 政友會滿鮮調査會理事松田源治氏は朝鮮視察の爲め來月七日頃出發渡鮮の筈(同上)

▲大法會と鐵道院 鐵道院にては明年四月より施行の京都知恩院兩本願寺大法會の準備として今回京都市下京區坊城通りに假停車場を設置するに決したりと(同上)

▲艦隊の聯合演習 十一月四日より第一、第二艦隊及横須賀鎮守府防備艦隊の聯合演習を開始す

▲白仁民政長官 白仁關東都督府民政長官今朝入京す(同上)

▲沿海無線電信 仁川大連間無線電信設置の議あり

鮮報

天長節奉祝彙報

京城民團に於ける

本年の天長節奉祝に於ては孰れの方面に於ても非常に意氣込と熱誠とを以て準備中なるが民團側に於ける計劃は大要左の如く決せり

▲市街の裝飾 市中は衛生組長を通じて各戶に國旗の掲揚は言ふまでもなく主なる店舗にては店頭に種々意匠を凝らせる裝飾を施こし飽くまで美觀を競ふ筈なり又民團にては本町三丁目韓國銀行前に菊花を以て飾る爛熳たる緑門を設られ夜はイルミネーション點をじて其界隈をして不夜城たらしむべし

▲奉祝式場 奉祝の式場は既報の如く南山倭城臺紀念塔の下に設けられ既に其設備に取掛れり居れり午前十一時開會し會員は其入口にて會員章引換に酒肴券を得て折詰め及瓶酒の配付を受け食卓に就き委員長の發聲に和し 天皇陛下萬歳を三唱し是にて式を了へ擅まゝに獻酬して退散する順序なり

▲會場の餘興 式場の上段に在る噴水池に側には消防組の備に係る素人相撲あり又其左右前後には數基の舞臺を設け日本側料理店より藝妓總出にて舞踊を演ずべし更に朝鮮人側よりも妓生數十名を出して錦上花を添ゆる筈なり其他各種の餘興ある筈にて目下考案中也

▲各學校遙拜式 高等女學校小學校幼稚園にては午前十時より遙拜式を擧ぐる事例年の通りなるが特に本年は吾等殖民地に在る同胞に取り最も目出度佳節なれば生徒の印象を一層深からしむる爲め例年以上の盛儀を擧げ各學校長より有益なる訓話を與ゆる筈なり

▲會員章の賣方 初め委員の計畫にては會員千名位を豫定せしが日本人は勿論朝鮮人側の意氣込中々盛んにして此分なれば豫定の員數は疾ふに飛越し三千內外に達すべしとの事なり實に盛んな前景氣と言ふべし

▲來賓の人々 當日來賓として案內を受けたる人々は山縣政務總監、金中樞院副議長、各部局長官、軍司令官、參謀長、經理部長、軍醫部長、師團長等二十餘名にして朝野の名士一堂に集るは此時を措いて又見るべからず

●警備電話工事起工 警務總監部の警備電話は曩に警備機關統一と併合問題とで一時に逢着せしめ完全なる設備をなすを得ず不得已在來のものを其儘使用し來りしが併合も一段落を告げ加之各地方共平穩に歸し當分事もなき豫想なれば一日も早く是れを整備し他日の運用を期せざるべからざるより今回一萬餘圓を投じて右完全なる工事を起す次第となり昨今專ら設計中なるが同時に第二分隊構內の電話交換局は他に移轉の筈にて開は大和町の警務總監部前に新築するの豫定也と

●水瀧總領事の抗議 間島方面に於ける清國官民の暴狀は實に言語に絶するが殊に去る二十四日局子街に於ける暴行及二十五日豆滿江附近に於ける郵便脚夫迫害事件の如き決して容赦すべからざる大事件なり斯かる暴狀をして輕々看過し去る時は今後如何なる椿事を誘致せんも計られず故に永瀧總領事は直ちに知府衙門に嚴重なる抗議を提出し同時に相當の損害賠償を要求せり而して間島に關する日清關係は併合と共に變更を生じたるを以て此機に於て幾の日清協約改訂を交涉すべしと

●ヴィナー僧正逝去 朝鮮人傳道の爲め多年盡瘁せられし英國僧正は病氣の爲め仁川英國病院に於て治療中の處藥石効なく廿七日遂に逝去されたり

●土地調査の終了期 朝鮮の土地調査は本年三月より土地調査局に於て正式に着手したるが全道を完全に調査するには約七個年八個月を要する由にて或は長期に失する如く云ふ者あるも臺灣、沖繩の例を以てすれば決して長きにあらず斯くして調査結了の曉には十三道の山間水角に至る迄で其面積を知悉するを得べきなりと云ふ

朝鮮銀行の計畫

大阪の有力者間には目下私かに朝鮮銀行設立の計畫あり其發起人も決定の由なるが大藏省の認可を請ふには時日を要するを以て現に營業せる銀行を讓受け資本金を五百萬圓に擴張して直ちに業務を開始せんとするものゝ如く或る銀行に對して讓受けの交涉中なるが其決定を見るに至らば直に發表すべしと

歲末の市況豫想

一般何と追々歲末に近付くに隨ひ市況節季の準備に是れ忙はしき模樣なるが概して昨今の景氣は兎角思惑氣味の傾向ありて其果して期待せる如き好現象を見るべきか否かに就て孰れも多少懸念の色あり始め朝鮮併合問題は一般の最も囑望せし處にして之に因りて少くとも兩三年來の愁眉を開き得べしと思惟せしに事實現はれたる結果は存外消極的にて何等の反響なく又併合實施の爲め多額の恩賜金下付せられしといふも徒らに聲はすれば姿は見へずの觀あり元來朝鮮に於ける兩三年來の不景氣は朝鮮人の購買力缺乏せるものなり然れば之が挽回を望まんには朝鮮人の生活狀態をして昂進せしめざるべからざるに朝鮮人の一般を見れば依然として舊狀の變化を見ず折角の恩賜公債を眺めて茫然たるのみ斯かる次第なれば本年の歲末景況は意外の感あるべしと豫想せらると某氏は語れり

●仁川會議所と會頭 仁川日本人商業會議所にては豫報の如く廿八日午後四時三十分臨時總會を開き會頭の選擧及び聯合會出席議員撰定の件を決議したるが出席議員十三名にして開票の結果(六票)稻田勝彥、(六票)加來榮太郎(一票)加藤東太郎となり即ち稻田加來兩氏同點なるを以て決選投票をなし一票の棄劵ありて又々同點なるを以て抽籤の結果加來榮太郎氏と決定し聯合會出席員は正副會頭荻谷書記長を撰定し同六時三十分閉會せり

●韓銀兌換券の印刷 總督府印刷局にては去二十五日より同局技師の意匠成れる韓國銀行兌換券の印刷に始めたりと云ふ

●登記法制定の議 登記法は目下松寺檢事正の手元に於て專ら立案中なるが努めて現在の土地證明規則其他と抵觸を避ん爲め苦心し居れりと

仁川港の輸出米

▲第一米の品位 一等は海州附近產及白川附近にして兩者殆んど優劣なく小粒にして固く乾燥比較的宜しく從て精白に當り桝減鮮なく其味多きが故に地場消費向として精米筋に最も歡迎せらるゝ又た全羅道產も(一等)位し其群山方面より廻米するものは一般に大粒にして光澤あり外觀宜しく輸出向玄米としては最も聲價あり(二等)は延安附近產にして海州白川產と形質相似たれども乾燥の不足なる點に於て前者に劣る(三等)は忠淸道產にして形狀細長輸出向きとしては黄海道產に一歩を讓る但本道產中廣川產は最上位にあり群山に出て同港より輸出せらるゝ以上は大体の等級なれども年の豐凶は米質に影響を及ぼすこと少なからざれば忠淸道豐作にして黄海道凶作なる年の如きは自ら其標準に異動を來すことあり價格に付き以上を比較するに昨年は一等と三等とは玄米一石に付平均約五十錢內外の差を得たり尤も昨年は忠淸道の作柄宜しからず爲に價格に差を大ならしめたる傾あるも兩道の作柄同等なるに於ては平均三十錢內外の差に止まる

▲第二輸出米の比較 輸出米に付き他港と比較するに精米の坂神に移出せらるゝ釜山にして仁川港は主として大連に輸出するを以て坂神市場に於ける價格を比較し難きも大連に於ては鎮南浦米と等差なく上白米にありては大阪市場に於て釜山上白に比し一石に付約二十錢の安値なり蓋し仁川港の輸出白米は主として忠淸道產にして同港に於ても品質第三位にあるものなるが故に釜山上白に比すれば自ら下位にあり中白並白に至りても亦同樣の値差を生ず

▲第三米穀の欠點 (一)除粒の不完全 輸出米たると地場精米所向たるとを問はず價格に影響を及ぼしつゝあるは玄米中に混粒の多きことなり之れ根摺方法の不完全なると斗量を多くせんが爲め殊更粳を混するの弊習未だ跡を絶ざるに因る(二)砂石の混入之れ調製方法の粗雜に基くものなり(三)乾燥の不足 乾燥上の注意不足なること及斗量を僞らんが爲めに故意に水分を含ましむることあり(四)選種の行はれざること 朝鮮米には稀にして粳を混するあり又た粳にして稗を混せるもの多きを以て選種を行ひ品位の向上を圖ることも亦必要に屬す

以上の諸欠點に對する矯正方法の一として仁川にては明治二十六年より穀物協會に於て穀物の檢査を行ひ玄米一斗に對し五合以上の混粒ありと認むるもの其他品質劣等のものは不合格として之が輸出取引を禁じ以て改良を期したりしも爾來不合格に對する協會員外の穀物商の取引盛にして米穀改良の實を擧ぐるに至らず本年三月を以て其閉鎖を見るに至れり

奉祝天長節大提灯行列

本社主催日鮮人合同

一 日人側總指揮官 古城民團長
　鮮人側總指揮官 俞府民會長

一 參加人員豫定 一萬人
各商工團休、各銀行、會社、病院、諸學校生徒、鐵道局其他一般官民但し十二歲以下の少年者を入れず

▲行列順序

一 集合出發場所 景福宮光化門前の廣場

一 集合時間 午後五時

一 出發時間 午後六時

一 軍樂隊を先登に立て順路光化門前より長谷川町に出で府廳前本町二丁目を左に折れ本町通りを通過し新町に出で新町より大和町に出て直行日の出町を通過し日の出町小學校角より左に折れ總督邸に達し茲にて 天皇陛下の萬歲を三唱し右倭城台に登り大神宮前に於て万歲を唱へて解散す

一 參加者心得 參加者は何等費用を要せず尤も各自の提灯と蠟燭とを用意せらるべし
但提灯は日本、朝鮮其の他何種類にても差支へなし

本年の天長節は併合後第一の佳節なり此際に於て日鮮兩臣民合同して御聖文武なる 陛下の御誕辰日を祝するは快亦快の事なり因つて本社は其筋の認可を經て奉祝の計畫を爲す、有志日鮮人諸君奮つて御參加あらんことを

京城新報社

●海州の市區改正 黄海道廳所在地なる海州に於ては市區改正の議ありて二十七日より測量に着手したりと

●京城民會開會期 京城民團にては三十一日午後一時より民會を開き民團債借替の件を審議する筈なりと

●幹部演習の終了 過般來擧行中の第三旅團幹部演習は二十八日終了

高架電鐵に就て

韓國銀行總裁 市原盛宏君談

電鐵の高架線を本町沿に架設するの可否ですか、過日貴紙に掲載せられたるは何人の意見で又如何なる成案があるかは知らぬが、察するに「交通機關の擴張」といふのが即ち主意の在る處でせう、此の意味に於て私は高架線の架設も宜しからうと思ふ、併しながら交通機關の擴張を主眼として考ふれば本町の街路取擴げ、若くは其の裏手に本町通と並行して南大門に通ずる一條の街路を開通することは高架電鐵より一層必要では無からうか、但し敘上は資金の出所を度外に措いての意見で、事の可否は資金の出所に依つて決すべき筋だが、今の瓦斯電氣會社が高架線を架設するのならば兎に角、該會社は資力及ばす他に之を計畫する者ありとすれば、先づ以て講究すべき雜多の問題が起る、就中、私の想像する處では京城の商業中心は本町より他に移りはせぬであらうか、他年一日總督府が現在の所在地から例へば慶福宮にでも移轉することなどあらば隨て商業中心も動くものと見て差支は無からう、其の曉には本町は、京都の新京極或は大阪の道頓堀の如き街區となる然なくば頓と寂れて了ふかも知れぬ、高架電鐵線は斯る事柄迄を顧念せねばならぬので、私は折角の御尋ねながら今は可否何れとも御答へ致し兼ねます。

●朝鮮紳士名鑑豫約 日本電報通信社京城支局に於ては今回總督府の認可を得て「朝鮮紳士名鑑」の豫約出版募集中なるが其內容は朝鮮の王族、貴族、紳士、紳商、淑女の肖像寫眞版を挿入し詳細なる傳記を附せるものにして新附國民の精華を天下に紹介するに好箇の著書たるべし因に名鑑の豫約申込期は十一月廿日にて豫約價三圓なるが豫約募集の成績は頗る良好にして既に東京のみに於て申込數千部に達したりと

●田所江木氏歡迎 入京中の文部省參事官田所美治拓殖局第一部長江木翼兩氏の爲め三十日午後六時より翠に於て歡迎會を開く由出席希望者は宇佐美內務部長官迄申込まるべしと

●師團長の晩餐會 松永第二師團長は三十日午後六時より官民數十名を官邸に招きて晚餐會を催す由なり

●小倉主計監出發 小倉主計監は廿九日朝龍山發列車にて釜山に向ふ

●山田參謀の歸任 軍司令部の山田參謀は第三旅團幹部演習視察の爲め出張中なりしが二十八日夜歸任したり

●學生の北漢山行 北部幾湖學校生徒約六十餘名は廿九日午前七時校長引率の下に北漢山に攀登し午後歸校せり

公人私人

△近藤常助(韓國農事株式會社支配人)二十八日仁川より入京巴城館投宿
△緒方克巳(布敎師) 同日新義州行
△齋田耕陽(福日記者) 同日仁川へ
△荒木民三郎(造船技師) 同日釜山行

▲京城手形交換高▼
十月 金高 枚數
廿九日 一一八、二〇三、一四 二八四

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 廿八日の分如左
乘車客 七一二 下車客 六七五
乘車賃金 一三六二、二七

▲南大門荷物扱高 廿八日の分如左
發送 七三屯 到着 三四六屯
送賃金 八六四、〇三

▲龍山驛の乘降客 廿八日の分如左
乘車客 二六一 下車客 二二八
乘車賃金 一九九、四七

▲龍山驛荷物扱高
發送 二三屯 到着 一、一二〇屯
發送賃金 七一、七八

▲仁川港の出入船舶▼
▲日高丸 三十日芝罘より入港
▲爲朝丸 同 大阪より入港
▲神代丸 同 大阪より入港
▲雲海丸 同 鎮南浦へ向出港

▲仁川米豆取引所▼
▲前場(二十九日) 十一月一節八圓九十五錢三錢二錢一錢三錢一錢二錢一錢二錢三錢三錢四錢三錢▲二節九十四錢三錢▲三節八十五錢七錢八錢九錢十錢八十九錢
▲後場(同上) 十二月一節八日八十四錢六錢八錢九錢九十錢一錢▲二節九十一錢二錢三錢二錢三錢二錢一錢二錢▲三節八十八錢六錢七錢八錢九錢九十圓八十九錢▲出來高六千四百石

▲大阪期米電報▼
▲前場(廿九日) 十月限寄十四圓四十二錢止三十六錢▲十一月限寄八十七錢止七十七錢▲十二月限寄九十錢止九十錢
▲後場(同上) 十月納會止九錢▲十一月限寄十四圓七十八錢八十三錢▲十二月限寄九十錢

▲治外法權▼

義勇艦の梅ケ香丸は不經濟至極の船で、鐵道院でも持餘して居たが、今度愈々關釜連絡線からホウリ出すことになつた、鬼の死んだのと梅ケ香丸、好一對の厄介者だ▲一体世の中に義勇なんて名の附くものに碌なものはないのだ、義勇兵、義勇艦同じ事だ、義勇と云ふ字は立派だが正味を云へば義勇とは取も直さず道樂と云ふ義だ▲而るに現代不思議なる事には此義勇乃ち道樂的に事をすることが中々流行する、政治、敎育、宗敎いテは實業までを義勇的にヤランとする連が澤山ある、彼等は曰く吾人は國家社會の爲めに報酬を望まずして何々の事を爲すと、嗚呼義勇も茲に到つては實に困つたものだ▲義勇と云ふは英語のヴオランテヤの譯語で元來我國にはなかつた語だ、されば我國人には義勇と道樂とを區別することが中々六ケ敷いのだ、で、何でも國家とか社會とかの爲になると云ふ事があれば前後の考も成算もなくして直ちに飛付いてヤルのだ▲處が愈々ヤリ出して見ると中々時間も要れば費用も要る、コンナ筈ではなかつたがと眼が覺めて見るとモー嫌になる、トヾのツマリは逃出すことになる▲今の社會は万事が有機的に組織的であるのだ、官吏、農商工何れもが眞面目に各自の受持を果せばソレで濟むのだ、何を苦んで義勇的乃ち道樂的に餘計な事をする必要があるか、梅ケ香丸を見玉へアレ程金の掛つた、アレ程立派な船が連絡線からホウリ出されるではないか。

今日の運勢

十月卅日 舊九月廿七日 五黄 大安 戊辰 破 △一白 事見合せの事 親戚近親の事 △二黒 事煩累あり △三碧 賃貸借金 旅行轉住改革整理に忌む兒女及從者の事に累あり△四綠 旅行及掛合ひ取組み取引事克く成就す其他萬事手控への事△五黃 新事貸借不動產の事見合せたるし決算整理示談、紛爭起らんとす△六白 保證引受を禁す新か旅行婚談聯合組合に忌む△七赤 諸事手控への事 訴判出願相談委囑見込あらし△八白 婚談共同組合相談旅行轉住は見合せの事 失防ぐべし△九紫 業務上利益若くは便宜あるも文書記錄の事故障起らんとす(本町五丁目三一 路判斷)

東京電報

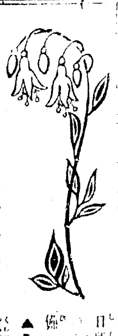
▲艦隊聯合演習 十一
月四日より第一、第二艦隊聯合演習を開始す

▲[illegible]民政長官 今朝入京す(同上)

▲沿海無線電信 本浦[illegible] 仁川大連間無線電信設置の議あり

朝鮮人傳道の爲め多年盡瘁せられし[illegible]…

▲[illegible]十一、倍止逝去



大提灯行列彙報
（廿九日正午迄の分）

別項社告の通り本社主催天長節奉祝提灯行列の參加者左の如し（申込順）

▲漢城病院▲歌舞伎座音樂隊▲日韓瓦斯會社▲東亞煙草會社▲青木堂▲辻屋商店▲龜屋商店▲日韓書房▲山邑酒店▲三巴酒店▲京城吳服商組合▲京城時計商組合▲三井物産會社▲韓國銀行▲十八銀行▲第一銀行▲百三十銀行▲天一銀行▲韓一銀行▲漢湖農工銀行▲漢城銀行▲鐵道局▲東洋協會學校▲工業傳習所、外國語學校、師範學校、纖湖學校▲基督教青年會▲日鮮兩商業會議所▲織居、瀧川、福田各自轉車店▲日韓印刷▲藤田合名會社▲東活販所▲京城商會▲大塚酒店▲第二小學生▲印刷局▲救世軍▲佛教團體▲善隣商業學校▲日出小學校▲質屋組合▲青年力行團▲雜貨商組合

▲燈火の京城 來る天長節は即ち併合後第一回の佳節なるを以て奉祝の誠意を表せんとする日鮮兩民の意氣込みは實に想像以外にして

晝間は別項二面欄所載の如く午前十一時より倭城臺に於て民間主催官民の祝賀會あり種々なる餘興に一日を送り、又一方各學校銀行會社等にても夫々奉祝の準備あり殊に同業京城日報の旗行列等あれば各所個々別々相當に賑はふ事ならんも夜に入つての本社主催日鮮民合同の大提灯行列は殆ど京城全部の人士を集むるの觀あり、最初本社の計畫は僅々一万人の豫定なりも府民の熱誠は茲に溢れて他に何等の催しなきを幸ひ殆んど府内の全部は此の大行列に列するの勢ひありて曾つて日韓併合祝賀提灯行列を東京に於て催したる時は其數五万と註せられたるが今回は實に其以上にして是等多數の人々が手に手に球燈を捧持して行進する樣は蓋し空前の大盛況にして當夜の京城府中は實に不夜城の觀あらん

▲明治町 本社主催大行列の參加者は前記の如く殆んど府民の全部を集むるの概あり、其中にも特に個人若しくは團體にて申込みたる向き又運

▲大上商店 本町五丁目の雜貨商大上商店にては店員のみ五十名に一定の服裝を爲さしめ參列する旨申込ありたり

▲鼎商會 長谷川町二丁目鼎商會にも多數の職工を使用し居れば當夜は是等職工の全部を參加せしむる筈

▲印刷師組合 京城日鮮人印刷師組合員約百餘名も細工は流石手のもの丶事とて一定の工夫を凝らしたる小行燈を携へ參列する筈

▲食料品組合 に於ても既に參加の申込みあり目下夫々準備中

▲木下藥房 本町五丁目木下藥房に於ては當夜行列の諸員が同店前を通過する際興奮劑として消快丸一包宛を配附する由

▲自轉車申込 自轉車を所持する人にして同隊に加入せんとする人は府内何れかの自轉車商店に申込まるべし尚は同隊の指揮は織居商店並びに明治町の小西氏等之を爲す筈

群山分監の破獄

▽强賊十三人の逃走

去る二十六日早朝群山港群山分監に於て破獄の珍事出來したり事の起りは洗面時間中にして當番看守等は例の如く順次三名宛を出し洗面を爲さしめつ丶ありしが六時二十分頃一分房（二十三人）の囚徒を開き先づ三人を洗面せしめ、終了の上之を入房せしめんとする刹那突然一人の者中央に在りし部長に躍り掛つて劍を奪はんとし殆ど同時に洗面場に在りたる看守にも亦入戸開閉の任に當りし看守にも組付き來り端なく一大格鬪開始されしが兇漢等も頗る機會を捉へて慾を逞し居たるものと見ゆ恰も此時に代つて出づ可き三人の囚徒も手錠を外し居たる際なれば此者等も時を過たず内より戸を突いて現れ出で續いて破獄共謀者十餘人も聲を擧げて飛出し部長看守等は手答へ好く皆同時に組付かれ心はアセれども咄嗟の手段に出で難く兎に角組まれ乍ら拔劍し之を振ひ居る間に十三人の者は逃走したり格鬪は六時廿分頃に起り卅分頃には終りしも僅か五六分に過ぎざるも頗る激烈を極め逃走囚徒中刀創を受けたる者は七八人一名は瀕死の狀態にて走り得ず其儘收容したり橋本看守は顏部に及尻

▲朝鮮婦人と高襟櫛 近來朝鮮婦人にてハイカラ櫛を求むるもの非常に多き由廂髮流行の兆なるべしやがては丸髷、銀杏返なども流行すべく纔に浮身を投島田と洒落る丶妓生など出來たらば一段の妙なるべし

●强盜犯人假出獄 京畿道江華郡府内面西門内鄉校洞平民張武烈（三九）は隆熙一年六月四日强盜罪により京城地方裁判所仁州支部に於て懲役二年半の宣告を受け仁川分監に於て處刑中の處刑以來能く獄則紀律を遵守し改悛の狀顯著にして且つ本刑期も已に三分の一を經過したるを以て朝鮮總督より假出獄の許可ありたるに付去る廿八日星分監長より本人に對し懇篤出獄後の心得書を諭示し同日午後一時出獄せしめたり同人に對しては淨上宗仁川寺救護院に於て保護を引受けたりと云ふ

●動植物園の此頃 昌德宮内の動物園、植物園は昨今觀覽者頗る増加せるが觀覽料は從來大人八十錢なりしを五錢、小人五錢なりしを三錢に値下げ三十日より實行の筈なるが京都よりの珍客兒獅子（二ツ）新たに加はりたれは定めて盛況を呈するなるべし尚は昨今は午前九時開園、午後四時閉園し居れり

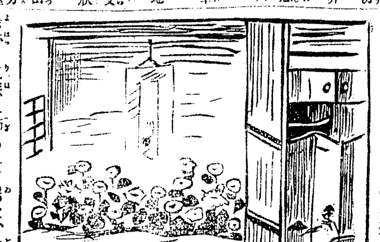
▲菊のいろ／＼（九）

▲小竹軍醫正邸の菊 大和町一丁目の總督府醫院へ出られる小竹さんの菊花を見んと案内を乞ひますと早速座敷へ通されて、其の座敷は二方樣で前には築山があつて噴水がある飛石の廻りは小砂利を敷かれてある立派な庭です、其上秋の花王たる菊花が一百十餘種類五百鉢



朝鮮に比較すると非常に造り易い、御承知の通り雨が少ないので内地に比較すると其上に泉水がありますから水の世話がいりませんので思ひの外骨が折れません、一通り運ぶ世話がいりませんで思はれるより骨が折れませんが今年は方々で菊を造られるのでちと珍らしいのが無くては思ひまして方々から種を取り寄せましたが未だ花が開きませんので判りませんが開らいた内では日月と云ふのと鶴の巢籠と云ふのがありますと應接室へ案内された、此所にも二十鉢餘も立派に飾られて居た、日月と云ふのは白で花瓣が太く其中に黄色な線が通つて花瓣が三十三枚で誠に大きな花である鶴の巢籠と云ふのは白蕾赤があつて鳳凰の頂の樣に花の上に又花が出來る筈なので すが今年始めてゞ未だ判らんとの事であるがこれが出たら見物であらうと思はれる、兎に角庭前に五百餘鉢ものが皆滿開したらさぞ美事な事であらうと思はれる

も色取も良く置かれてあるので實に美事であるが其庭で御主人の御話しを承はると今年は家の修繕の爲めに暫く捨て置きましたので花が他樣より遲れました、其のことであるが、たゞ一人で五百鉢もあられるのであるから餘程骨が折れる事であらうと御尋ねすると否や朝



京城樓上の菊

●仁川雜事 仁川京町一丁目餅行商人高尾新八は目下同港繫留中なる鬪船大工岡山縣上道郡三幡村濱野半船の船頭に四五日前餅代九錢を貸し置きたるに度々請求するも中々仕拂はざるに付警察へ出たるにより取調べたる處代金は同船頭が仕拂ひする事故今日迄其儘になし置きたる旨申立たるにより說諭の上仕拂はせたり

●小林氏の信託部 當地商業會議所議員小林藤右衛門氏の經營せる信託部は本回大々的擴張を爲せしが其主旨左の如し

今や朝鮮八道は我天皇陛下の德化に浴し諸般の行政機關悉く改善され交通運輸の便は更に急速の發達をなさんとし殊に從來憂患とせし各地の暴民草賊は悉く改悛歸順し邊境卒土に至るまで普く公正なる官憲の派駐するあり各人の權利義務は完全に保證せられ茲に全く昔日の觀を一新し母國内地と何等異なる所なきに至れり而して肥沃なる農耕地と豐饒なる鑛山と無盡藏なる生産力とは此平和なる境土の中に在り此時に方り先進實業家は宜しく在來の住民と互に提携扶掖し其豐富なる資財と鋭敏なる才能とを振ひ海に陸に利源の開發に努力するを以て刻下最要の急務なりと信ず生は幸に多年此地に在りて諸般の事情に通曉するを以て更に一層の精査を遂げ誠實なる起業家の東道者となり信用ある經營者の伴侶となり其間に於ける堅實なる機關となり以て諸君をして些の顧念なく開發經營に從事し豫期の成効を收めしは以て國民の本分を全ふせしめんことを冀ふもの也仍て茲に在來の本領とし最も公正敏活に其業務に從事せんとす希くは生の頑固偏屈を認められ多少に拘らず御用命あらんことを

●愿刑● 龍山山下町高橋方鈴木竹次郎（二五）が本年九月中降龍山及京城に於て所々に於て窃盜を働き龍山署に捕はれし事は既報の如くなるが該事件は昨二十九日懲役三ヶ月に處せらる

●殿打 中部蓮坊松峴十九統四戶安敬順（六〇）は張奉植（二八）と金十四錢の取引上の事より爭論の末張を毆打し負傷せしめ北部署に引致取調中

●龍山講義所 新市街井出商店隣にて三十日午後七時半傳道說教あり 人生の目的 山口照平

●無關門提唱 若草町曹洞宗西本山別院にては明三十日（日曜）午前九時より道間師の無關門提唱あり參聽隨意

●日曜集會（三十日）

●日本基督教會（旭町四丁目）午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教 南 多田雨氏 時より禮拜說教 末定 右終りて午後七時半より傳道說教 南 廉平君 耶蘇の與ふる平安 多田素君 基督道德の特色

●京城基督教會（日の出町）午前九時より日曜學校同十時より禮拜說教 究極の疑問 米澤牧師 右終りて午後七時よりは傳道說教 基督教の人觀 同上

●メソヂスト教會（旭町二丁目）にて午前九時半日曜學校次に本多監督の說教あり午後七時より傳道說教 同

▲歌舞伎座 浪花節芝居「浪花俠客魁梅次」七場にて三十一日の代藝題は同上續き金八拐大車輪にて勤むと

▲浪花館 若遊三一座の代番組如左 今戶の狐、道具や、首の仕替、紫檀樓、十德、幇間醫者、橋場の夢、ヴアイオリン、所作事電氣應用

▲松友會の發會式 三十日正午十二時より掬翠樓に於て第一回開會す其の番組左の如し（會費を要せす） 白樂天（中村氏、桑原氏、岩崎氏）朝長葵上（桐原氏、岩崎氏、吉野氏）囃子（觀世流）景清（寶生流）松風（喜多流）（大桑原氏、熊野、烏頭、仕舞、獨吟、猩々（吉野氏、中村氏）

日之耳（三十日分）

值下げ 一ヶ月分 金三十錢 京城新報

廣告

來る十一月一日より電氣鐵道路新舊龍山の區界を左記の通り改正致候に付謹告候也

古市町、分岐點間を一區とす 古市町分岐點、新龍山終點間を一區とす 舊龍山終點間を一區とす

古市町分岐點に於て三方共御乘替被下度候也 貸錢は從來の通り一區に付金五錢申受候

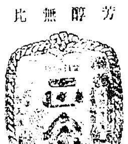
明治四十三年十月 日韓瓦斯電氣株式會社

盬田貸下廣告

東萊府龍湖一驪田、土地、建物、貸下一製塩器具類、鹹水拂下 右説爭ニヨリ貸下并ニ拂下ス詳細ハ十月二十九日ヨリ朝鮮總督府官報ニアリ

朝鮮總督府專賣局

芳醇無比



特約發賣店 京城本町四丁目 前田酒店 （電話一三七）

新學期

文章講義錄

一人々々教授 講義極めて懇切、生徒の文章を嚴密添削し其人の文才に應じて特殊の指導教授をなす。學費低廉、添削は無料

◉第八回新學期を開始し、講義錄第一號より發行す目下入學の最好機◉見本つき規則申込次第無料進呈

▲本院講師 大町文學士 久保文學士 生田文學士 內海文學士 長原文學士 桑木文學士 中村文學士 沼波文學士 小栗風葉氏 德田秋聲氏 金子薰園氏

東京麴町飯田町三丁目廿五 日本文章學院 電話番町二二三番

東京建物株式會社は派出所新設し左の營業開始す
東京建物株式會社は東京市日本橋區吳服町にあり
東京建物株式會社現在の資本金高は五百萬圓なり
東京建物株式會社派出所は京城旭町二丁目にあり
東京建物株式會社は土地建物を抵當に貸金をなす
東京建物株式會社は土地建物賣買及紹介をもなす
東京建物株式會社は月賦償却にて建物建築をなす

內科小兒科

診察時間 自午前八時 至正午

京城明治町三丁目 醫學士 村上龍藏 （電話六壹參番）

生花大會

來る十一月三日四日の兩日南山町二丁目（伊藤組横）に於て三先御流生花秋期大會相催し候間萬障御繰合せ御出席被下度候 御希望の方は壽町横井方へ御申込被下度候

發起者 金冷齊社中

最上醬油 登錄商標

山十印

釀造元 千葉縣銚子町 岩崎重次郎

發賣元 京城本町壹丁目 三巳商會 電話七五三番

貸家

長谷川町一丁目表通 煉化西洋建家屋 南山町二丁目山手電話八五七番 皆川

第二期決算報告
（明治四十三年四月ヨリ同年九月卅日ニ至ル）

貸借對照表

負債之部：株金、借入金、未拂込、受入[illegible]、合計 三〇〇、〇〇〇、[illegible]

資産之部：未拂込株金、土地建物、器具、[illegible]、商品、預金、假拂金、[illegible]、損益[illegible] 合計[illegible]

損益計算書

雜費、營業費、[illegible]、探掘費、加工費、税金、[illegible]、合計

明治四十三年十二月[illegible]日 京城旭町三丁目[illegible]番戶

日韓雲母株式會社

取締役社長 賀田金三郎 專務取締役 原田修三郎 取締役 竹田津吉 取締役 門北平 取締役 河田健一 右監査ヲ遂ゲ正確ナルヲ承認候也 監査役 內田[illegible] 監查役 山田弘三 監査役 武田寶 監查役 上遠野宜作 監查役 門野重九郎

諸看板製作

油繪肖像畫●硝子金文字入ペンキ塗工事大勉强請負

永樂町二丁目赤門通り 槻野工舍

第七期借貸對照表

資產之部

科目	金額
未拂込株金	七〇〇、〇〇〇・〇〇
諸貸付金	四一〇、七八一・三七
不動產	一六五、三四七・三〇
營業用地所	一〇、五二〇・六四
建物及什器	二、七二七・〇八
假渡金	一、七二七・八八
合計	一、三九一、一〇四・二七

負債之部

科目	金額
資本金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
諸積立金	五五、〇〇〇・〇〇
諸借入金	一九一、四四四・〇二
未拂利息	四八八・〇五
假受金	一八、二〇九・五〇
純益金	二五、九六二・七〇
合計	一、二九一、一〇四・二七

損益計算

一 金四萬一千七百三圓四十七錢 當期總益金
一 金千六百八十六圓六十八錢 前期繰越金
合計金四万三千三百九十圓十五錢
內
金一萬七千四百二十七圓四十五錢 當期總損金
差引
金二万五千九百六十二圓七十錢 純益金

此分配計算左ノ如シ
金五千圓 積立金
金二千五百圓 滯貸準備金
金千九百四十二圓八錢 賞與金
金一萬五千圓 配當金（即年一割之割）
金一千五百二十圓六十錢 後期繰越金
右之通候也
明治四十三年九月三十日

京城起業株式會社

取締役社長 山口太兵衛
專務取締役 和田常市
取締役 古城菅堂
同 中村再造
同 關繁太郎

前記ノ各項調査候處相違無之候也

監査役 梶原末太郎
同 松尾福五郎
同 秋吉富太郎

效能
●子宮血の道 ●逆上頭痛 ●下腹痛み ●難産流産 ●月經痛み ●腰先差込



婦人良藥
中將湯
本舗 津村順天堂

病んで知る健康の價値
弱き婦人 中將湯召して 夙く健康に回へられよ

代理店 京城 新井藥房

本品は貧血症、肺病及之に類似性の神經衰弱、消耗、疾患等の回復期に於ける病後、卓効あり、下痢に對し特に效を有す
大瓶二圓 四十錢 小瓶一圓 送料八錢
▲委細は說明書の代呈 無代贈呈す

ボビナミン 飲む大牛肉 ボビナイン

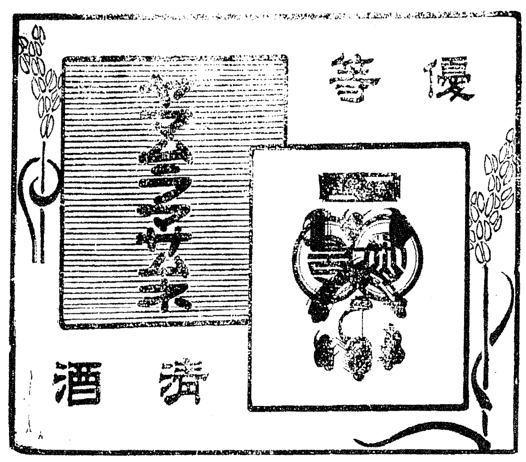
横濱市境町
合資會社 友田商店
振替口座東京一九三八番
朝鮮代理店 京城本町郵便局前
山岸天佑堂
振替口座朝鮮二〇三番 電話三七二番

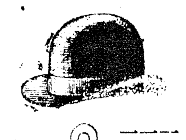
季節向嶄新流行品揃御案内

●婦人小間物 ●御羽織紐
●珍柄半ゑり かたかけ
●其他婦人裝飾用荷揃致居申候

地方之御注文は代金引替を以て迅速に御送附申上候

京城本町四丁目
小間物 化粧品 卸商
百福號
電話七四六番
振替口座壹壹壹番





◎冬物新荷着

一帽子 毛シャツ 毛布
一羽根蒲團 膝掛 沓下
一御婦人用肩掛 首卷
其他防寒用具旅行用具一式

◎エジプト煙草新荷着

京城本町

歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 直輸入商
辻屋
本店（電話二四八番）
支店（電話三六六番）

弊館には夜警の設備あり

陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
水產組合指定旅館
各保險會社指定旅館

眺望の好き事仁川第一なり

御客樣の安全此の上なし

仁川海岸
旭屋旅館
電話二五一

來れり 寫眞撮影の時季

寫眞器械 幻燈器械
藥品材料一切
旅行用娛樂用營業用

直輸入
京城本町四丁目
織居寫眞機部
電話二六二
振替貯金二三一

朝鮮總督府 各鐵道局 官衙御用品
藥學博士（丹波敬三先生發明）
御用品 陸軍檢疫御用品

消毒防臭殺菌
クレシン

効力石炭酸に同一 價格遙に低廉

成績表は御報次第送呈す

東京京橋
販賣元 高田商會銀座販賣店

特約店
京城本町一丁目（電話三七一番）
山岸天佑堂



陶磁器卸小賣
官製煙草元賣捌所
土管煉瓦販賣元

米國新式機械製造
土管煉瓦壺

京城本町三丁目
陶榮商店
電話百拾參番
振替口座韓國三

最上醬油

釀造元

仁川港萬石町
高杉醬油釀造場
電話七六五番

横濱火災海上運送信用保險株式會社

資本金五百萬圓 積立金百七十三萬圓

京城事務所 南大門通三、共益社內 電六九四

院長診察每日午前
自七時 至正午

龍山元町二丁目（電話一〇參番）
佐藤病院

院長診察每日午後
自三時 至五時

◦胃腸病診療◦

龍山郵便局北隣（電話四〇八番）
佐藤病院出張所

電話 開通 一五〇七

田舍ぜんざい、しるこ
天ぷら、うどん
そば、具物一切

出前の義は遠近に多少を問はず迅速御用相達可申候

南山町一丁目
やぐら庵
電話一五〇七番

義齒術一般

京城永樂町二丁目（赤門前）
榊忠司
取次電話一五八三

最上醬油 醇良清酒



特約大販賣店
京城永樂町二丁目
村島商店
（電話千五百四十四番）

胃腸新藥 タカヂアスターゼ
滋養劑 グリコナール錠
緩和下劑 カスカラ糖衣錠
其他各種藥品

發賣元
東京市 三共合資會社
朝鮮總代理店
仁川 竹田津三平

齒科治療

本町六丁目（藪そば橫町）
ドクトル
中村安子
女子見習募集委細面談
（電話一五八三）

酒精アルコール

新荷着
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）
坂倉支店

仁川京町一丁目六番地
（區裁判所橫）
後藤法律事務所
電話五〇六

明治町目抜の場處にて米穀商店讓り渡したし
但店株、電話、造作付
姓名在社

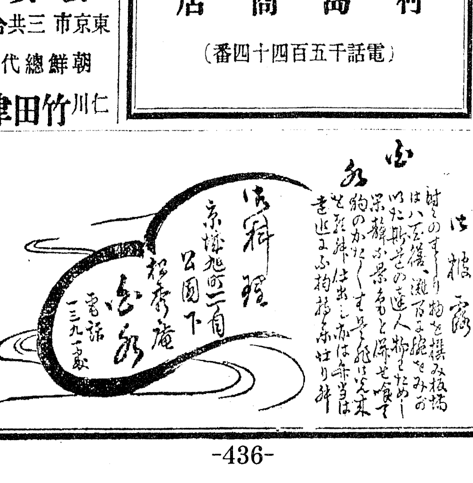
丸山醫院開業

診療時間
自午前八時 至午後九時
急病患者は何時にても診療す
京城南大門外吉野町一丁目五番戶

院長醫學得業士 丸山白
●看護婦見習生募集

◉緊急廣告◉

有利有望なる醬油味噌釀造所賣却
一所在 龍山祝町八十一番戶
一建坪 亞鉛葺平家建二棟七十一坪
一器具 醬油味噌釀造用器具一式小賣用器一式付
一電話
右都合に依り賣却す 十二月末日迄の拂込電話付
御希望の方は左記へ御來談被下度候
京城旭町二丁目十五番戶 高橋
電話一、四五六番



蒸溜消毒牛乳

京城青葉町五十番戶の一
廣養舍
細川牧場
（電話一三六六番）

長崎流
○しるこ
○茶碗むし
○むし壽し
（出前も御好に應じ可申候）

南山町二丁目（南山湯上隣）
松ぞの
（電話一一八五番）